

教科シラバス（家庭科）

科目名	家庭基礎	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		2	2	必履修	一斉
使用教科書・副教材・準備物					
家庭基礎（開隆堂） 家庭科ノート・調理実習ノート（愛媛県高等学校家庭科研究会）					
科目の概要			学習目標		
生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得に重点を置き、人の一生と家族・福祉、家族の生活と健康、消費生活と環境などの内容で構成されている。			<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術を習得し、自立した生活ができるようにする。 ・実習を通して「作る」と「協力する」ことの楽しさを体感させ、家庭科への興味・関心を持たせる。 ・授業で得た知識・技術を家庭生活や地域社会の充実向上に生かし、実践的態度を育てる。 		
年間学習プログラム					
	学習内容	学習のねらい			
1学期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ 人の一生と家族・家庭及び福祉 ・青年期の自立 ・家族・家庭 ・子どもの生活と保育 ・高齢者の生活と福祉 消費生活と持続可能な社会 ・生活を支える経済 ・消費行動と意思決定 ・持続可能なライフスタイルと環境 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な家族のかたちと家族のあり方を理解し、自分のライフコースを描かせる。 ・子どもの発達と保育を学び、親の役割を考えさせる。 ・高齢者の生活や福祉を学び、家族の果たす役割を考えさせる。 ・家庭経済は社会全体と密接に関係していることを理解し、主体的に判断し行動できるようにさせる。 			
2学期	衣食住の生活と健康 ・食生活と健康 ・調理実習3回 期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の食生活について学び、問題点を認識させる。 ・栄養素の種類や働きを学び、健康を考えた食品の取り方を理解させる。 ・1日に必要な栄養素や食品を知り、理想的な食生活を考えさせる。 ・調理の手順や調理方法を学び能率よく実習ができるようにさせる。 			
3学期	衣食住の生活と健康 ・衣生活と健康 ・住生活と健康 学年末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ衣服を着るのかと、持続可能な社会においてどのように衣生活を営んでいくべきかを考えさせる。 ・快適で安全な住空間を考えさせる。 			
評価の観点及び内容					
知識・技能	基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、実際の生活に生かせるようにしているか。				
思考力・判断力・表現力	家庭生活を見直し、課題を見つけ、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫しているか。				
主体的に学習に取り組む態度	家族・福祉・衣食住・消費生活などに関心を持ち、家庭生活の充実向上を目指そうとしているか。				
評価方法及びその他留意事項					
定期考査、学習態度、実習態度、実習作品、ホームプロジェクト、ノート、プリント提出等を含め上記3つの観点から総合的に評価する。					